



2019年6月3日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。年金改革への進展期待が高まったことや、ブラジル中央銀行が為替・資本市場に関する包括的な規制緩和案を提示したことなどが好感され、ブラジル・レアル、国債は買われました。

年金改革についてはボルソナロ大統領が政府と議会、司法の要人を招いて朝食会を開催しました。朝食会では年金改革・税制改革・汚職撲滅などについて政府と議会、司法が連携して取り組むことが協議されました。また、ブラジル中央銀行からは今後数年をかけて、市場アクセスの拡大など大幅な規制緩和に踏み切ることが示され、好感されました。

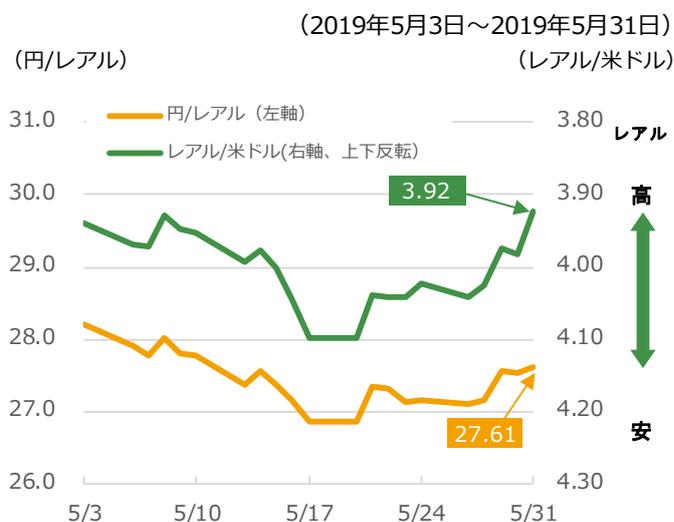
経済指標に関しては、2019年第1四半期のGDP（国内総生産）が発表されました。こちらは前年比で+0.5%、前期比で-0.2%の成長となりました。

今週の見通し

今週は、各種PMI（購買担当者指数）やIPCAインフレ率などが発表される予定です。

ブラジル国内では年金改革への期待感が高まっていますが、国外では米中通商交渉への懸念などが高まっています。世界的にリスク回避の動きが強まった際には新興国通貨であるブラジル・レアルも売られる可能性があり、注意が必要と考えます。

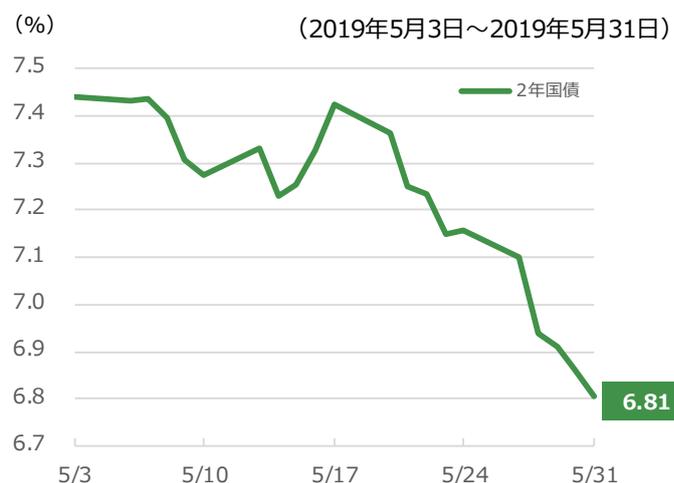
ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。